

受賞者の概要

施設部門

<最優秀賞>

○津幡町住吉公園屋内温水プール「アザレア」

〔 設置者：津幡町 設計者：株式会社 浦建築研究所 〕

大きな庇を設け、車椅子駐車場や車寄せから雨に濡れずに館内に入る事が出来る。スロープで出入り出来る多目的プールのほか、車椅子で使用できる多目的更衣室や、男女更衣室にカーテンで仕切られた更衣ブースなど、様々な利用者にとって使いやすいように設計されている。



<優秀賞>

○玉川公園

〔 設置者：金沢市

設計者：アルスコンサルタンツ株式会社 〕

誰もが使いやすい公園を目指して遊具広場を再整備し、背もたれと安全ベルトのついたブランコなどの体に障がいのある子も、そうでない子も誰もが一緒に安心して遊べるインクルーシブ遊具を設置した。保護者の見守り用の長尺のベンチや車いす用の水飲み場など、様々な利用者を想定して配慮されている。



福祉用具部門（一般部門）

<最優秀賞>

○玄関スロープを自作（橋本 幸一）

- ・リクライニング車椅子でも玄関の上がり框をスムーズに登れるように、玄関にスロープを自作した。
- ・スロープを折りたたみ式にし紐を取り付けることで、出し入れを容易にした。



<優秀賞>

○簡易 起立台（幼児用）（石崎 裕祐）

- ・障害のある幼児のリハビリテーションで使うもの。
- ・身長が低く一般的な大人用の起立台を使えない幼児でも、下肢に荷重をかける事が出来る。
- ・ホームセンターで購入可能なもので作成されているので自宅での作成・使用も可能。



○楽楽 うがい器（福村 和義）

- ・洗面所に移動することなく、机の上でうがい出来るように製作した。
- ・道具をひと固まりにすることで、介助者の負担を軽減できるように工夫した。



<奨励賞>

○ストロー固定（野村 杏羽）

- ・手の不自由な人でもストローを使いやすいように、コップにストローを固定するもの。
- ・家にあるもので簡単に作ることができ、様々な大きさの容器に対応できる。



○はらまもる君～寝冷え防止寝具～（新出 昭夫、高松 外美子）

- ・寝返りをしても布団がはだけないように、毛布を筒状につなげたもの。
- ・縫い合わせずにゴムでつなげることで、寝返りしやすいように工夫している。
- ・身体障害等で自ら布団を掛け直せない場合でも快適に睡眠することが出来る。また、介助者の負担軽減にもつながる。



福祉用具部門（企業部門）

<最優秀賞>

○利用者の身体負担と介護の負担を抑える車椅子用クッション

「zAAkix（ザーキックス）」（株式会社 InterGate）

- ・3Dプリンタで制作した立体メッシュ構造の車椅子用クッション。
- ・立体メッシュ構造が空気を通しやすく蒸れにくい。
- ・クッションを前後左右の4パーツに分け、ハード、ミディアム、ソフトの硬さを選べるようにすることで、個人の特性に合わせた使用が可能である。



<優秀賞>

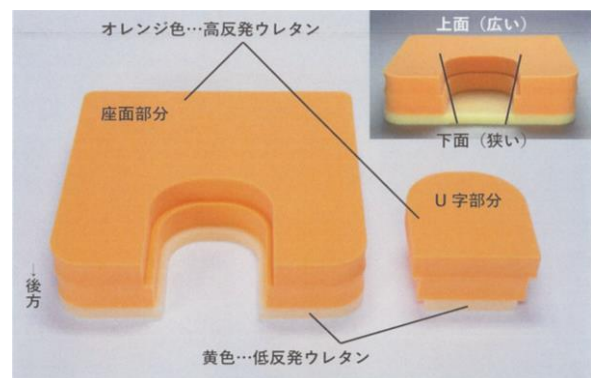
○スマホホルダー ほるる（川端鉄工所株式会社）

- ・車椅子にとりつけるスマホホルダー。
- ・一般的なものより強固に固定することができ、不整地を移動しても緩まないように設計。
- ・様々なサイズに対応可能であり、ホルダーに固定してもボタンを押せるよう工夫されている。



○メディマット® アジャストクッション (テックワン株式会社)

- ・ウレタンの積層クッションを採用した車椅子用クッション。
- ・尾てい骨部を U 字にくり抜き、部分的にクッションの厚さを調節できる。
- ・尾てい骨への荷重を軽減できるため、褥瘡等の身体状況にあわせて使用可能。
- ・防水性と透湿性に優れた素材をクッションカバーに使用しており、蒸れにくい。



<奨励賞>

○木製漆塗りの子ども用食器 (守田漆器株式会社)

- ・軽量かつ耐久性が高く、子どもが安心して使うことのできる木製漆器。
- ・子どもが使いやすい形状とサイズを考慮して設計されている。
- ・割れても修繕することができ、サステナビリティに配慮されている。



○蒔地楕円皿 (輪島キリモト)

- ・独自の技法を施すことで、耐久性と軽量性を両立した輪島塗の木製漆器。
- ・耐久性に優れ、金属製のカトラリーを使う事が出来る。
- ・持ち手部分や縁の立ち上げなどの工夫をし、幼児から高齢者まで使いやすいよう設計した。

